

福祉サービス第三者評価結果

(障害者・児版)

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 大分福祉サービス評価機構

②第三者評価実施日

平成 18 年 8 月 10 日, 11 日

③事業者情報

名称： 社会福祉法人 みずほ厚生センター みずほ学園	種別： 知的障害児入所施設
代表者氏名： 足立 幸夫	定員 (利用者数)： 60名
所在地： 大分県臼杵市大字井村2212番地	Tel 0972-63-6691

④ 総評

◇ 特に評価の高い点

心身の障害やさまざまな理由により、親元での養育が困難な児童のための施設『みずほ学園』はJR臼杵駅より2駅大分寄りの『熊崎駅』から歩いて5分の場所にあります。南を水田に面し、寺院と民家に囲まれた旧 双北中学校の廃校舎を利用して建ち、運動場をはさんで更生施設と授産施設があり、知的障害児・者の総合的な支援を行っています。

静かな環境にありながら、近隣の生活にとけこんだ立地は、安心感を呼びます。昭和40年開園の歴史は、児童福祉の枠にとらわれない過齢者の受け入れや、みずほ学園児以外の児童の通学援助、登下校前後の時間帯に保護者不在の児童の預かりなど柔軟で機転の利いた活動を行っています。

子ども達は明るく、年長児が年少児の世話をしたり、テレビ録画の希望を予約表に記入して叶わなければ我慢するなど集団生活で育つ良さも見受けられます。

利用者からの発語が少ないために処遇が難しい知的障害児施設において、進んで外部評価に取り組む真摯な態度に加えて職員自ら考えたチェック表を作り独自の視点から内省を試みるなど、サービスの向上を目指してゆるぎない決心を感じさせます。

◇ 改善を求められる点

希望や苦情を訴えにくい知的障害児・者に行う福祉は、人間愛に基づく観察力と想像力が常に求められます。言葉を持たない人々の心を尋ね、安全と安心と成長を助ける創意工夫が見受けられますが、利用者の側に立ち、利用者学ぶ姿勢がより一層大切です。

施設面では、危険箇所の修理と補修、子ども達の情緒を育て季節感を味わえる置物や壁面展示などに更なる工夫が望まれます。

処遇面では、長い『措置』の時代を経て障害者福祉の動向の変遷の中で、利用者に対する意識が新旧交錯している様子が各種文書の中や生活支援の場で見受けられます。

⑤ 第三者評価結果に対する事業者のコメント

理事長の「やろう」という思い切りの良さについつい乗せられて始まった第三者評価である。自己評価をした時は、“できていない”ことばかりで悲壮感さえ漂っていたが、ヒヤリングを受けて、自分たちでは気づかない「できている」部分を発見することができた。児童施設は措置によって入所してくる方ばかりで、理由は様々だが、多分に家庭での養育困難者が多数をしめる。またこれから自立力や社会性を身に付けていく児童施設の特異性から、支援内容に子どもの意向を十分に組み入れられないこともあった。今回はそれらがB評価として反映されていると受け止めている。

今後は委員会を立ち上げ、この評価結果を分析し、真に理念である「一人ひとりの尊厳を守る」支援ができるよう改善していきたいと思う。またこの評価を通して、サービス評価機構の方々もおっしゃっていた知的障害児にそぐわない評価項目もあるようなので、今後の課題にして頂きたい。

⑥ 各評価項目にかかる第三者評価結果

《評価細目の第三者評価結果》

すべての評価細目について、判断基準に基づいた評価結果を表示する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

〈Ⅰ-1 理念・基本方針〉

		第三者評価結果
I-1-(1)	理念、基本方針が確立されている。	
I-1-(1)-①	理念が明文化されている。	㉠・ b・ c
I-1-(1)-②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	㉠・ b・ c
I-1-(2)	理念や基本方針が周知されている。	
I-1-(2)-①	理念や基本方針が職員に周知されている。	㉠・ b・ c
I-1-(2)-②	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a・ ㉠・ c
評価者の コメント	<p>法人全体で、『一人ひとりの尊厳を守り、「共育・共生」の地域づくりに貢献する』の理念が掲げられています。さらにこの理念を法人理事長の言葉で具体的に解釈した文章で補足し、職員の共通認識を高める工夫がみられます。</p> <p>利用者・家族への周知に向けて、分かりやすい言葉で見やすい場所に掲示することや、パンフレット・リーフレットに記載されることが望まれます。</p>	

〈I-2 計画の策定〉

		第三者評価結果
1-2-(1)	中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
1-2-(1)-①	中・長期計画が策定されている。	㉠・ b・ c
1-2-(1)-②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	㉠・ b・ c
I-2-(2)	計画が適切に策定されている。	
I-2-(2)-①	計画の策定が組織的に行われている。	㉠・ b・ c
I-2-(2)-②	計画が職員に周知されている。	㉠・ b・ c
I-2-(2)-③	計画が利用者等に周知されている。	a・ ㉠・ c
評価者の コメント	<p>組織一丸となって中長期の事業計画を立てるプロジェクトをスタートさせており、これから軌道にのせる段階にあります。</p> <p>利用者・家族への周知には困難が伴いますが、分かりやすく「共育・共生」していく努</p>	

	力は望まれます。
--	----------

〈I-3 管理者の責任とリーダーシップ〉

		第三者評価結果
I-3-(1)	管理者の責任が明確にされている。	
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	㉠・ b・ c
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a・ ㉡・ c
I-3-(2)	管理者のリーダーシップが発揮されている。	
I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	㉠・ b・ c
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	㉠・ b・ c
評価者のコメント	年度ごとの事業計画や、職務分掌表の中で管理者の役割と責任が表明されています。また、理事長が自ら発行する広報誌は職員に向けて常に胸襟を開いたメッセージを伝え、職員からも自由な意見を求める姿勢があり、今後の継続と職員側からの積極的な活用が期待されます。	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

〈Ⅱ-1 経営状況の把握〉

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1)	経営環境の変化等に適切に対応している。	
Ⅱ-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	㉠・ b・ c
Ⅱ-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	㉠・ b・ c
Ⅱ-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	㉠・ b・ c

評価者のコメント	<p>社会保障制度全体の動向に目を向け、広い視野に立って障害者自立支援法などの法改正を受け止めて、事業運営に取り組まれています。</p> <p>養護学校等に説明に出向き、地域福祉の積極的な取り組みが行われています。</p>
----------	---

〈 II-2 人材の確保・養成 〉

		第三者評価結果
II-2-(1)	人事管理の体制が整備されている。	
II-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a ・ ⑥ ・ c
II-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	④ ・ b ・ c
II-2-(2)	職員の就業状況に配慮がなされている。	
II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a ・ ⑥ ・ c
II-2-(2)-②	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a ・ ⑥ ・ c
II-2-(3)	職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
II-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	④ ・ b ・ c
II-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a ・ ⑥ ・ c
II-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a ・ ⑥ ・ c
II-2-(4)	実習生の受け入れが適切に行われている。	
II-2-(4)-①	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	④ ・ b ・ c
II-2-(4)-②	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	④ ・ b ・ c
評価者のコメント	<p>1次、2次、3次考課者による人事考課制度があり、努力をする人には全職員に公平にチャンスを与えることが理事長自らのメッセージとして発信されています。</p> <p>職員研修に関しては、法人全体の組織としての計画性の確立が望まれます。</p>	

	職員の平均在籍年数は高く、職場環境や福利厚生面では一定の水準に達していると判断されます。
--	--

〈Ⅱ-3 安全管理〉

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1)	利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	
Ⅱ-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	㉠・ b・ c
Ⅱ-3-(1)-②	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a・ ㉠・ c
Ⅱ-3-(1)-③	災害等の発生時における防災体制が整備されている。	㉠・ b・ c
評価者のコメント	正しい歯磨きや手洗いの方法をわかりやすく絵や標語で示して利用者の見やすい位置に掲示するなど、衛生面の対策がよく工夫されています。ヒヤリハット・ミストラブル等の報告書は整備されていますが、記録後の職員への迅速な周知徹底が望まれます。同時に施設内での事故防止策の実施状況や実効性について職員間で定期的な点検見直しが望まれます。	

〈Ⅱ-4 地域との交流と連携〉

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1)	地域との関係が適切に確保されている	
Ⅱ-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	㉠・ b・ c
Ⅱ-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	㉠・ b・ c
Ⅱ-4-(1)-③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	㉠・ b・ c
Ⅱ-4-(2)	関係機関との連携が確保されている。	
Ⅱ-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	a・ ㉠・ c

II-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	㉠・ b ・ c
II-4-(3)	地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	
II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	㉠・ b ・ c
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	㉠・ b ・ c
評価者の コメント	<p>『サポートセンター 風車』との連携により地域福祉が積極的に行われています。『サポートセンター 風車』は大分県と臼杵市、津久見市からの委託を受けて運営されています。</p> <p>「福祉の相談やさん」を名のり、市内中心部の空き店舗を利用した親しみやすい地域福祉の相談窓口となっています。マイクロバスやテントを貸し出したり、地域の高校などに職業教育の一環として職員が「出前教室」の講師を務めるなどの取り組みがなされています。</p> <p>臼杵養護学校の生徒や、就学前の児童を登下校の前後の時間帯に預かる取組みや、日中預かりのサービスも行われています。</p> <p>日頃より近隣の地域の人々との交流を持ち、障害者や施設への理解を深められることが望まれます。</p>	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

〈Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス〉

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1)	利用者を尊重する姿勢が明示されている。	
Ⅲ-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	㉠・ b ・ c
Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a ・ ㉠ ・ c
Ⅲ-1-(2)	利用者満足の向上に努めている。	
Ⅲ-1-(2)-①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	㉠・ b ・ c

Ⅲ-1-(2)-②	利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている	㉠・ b・ c
Ⅲ-1-(3)	利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	㉠・ b・ c
Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a・ ㉢・ c
Ⅲ-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	㉠・ b・ c
評価者の コメント	<p>理事長をはじめ全職員により署名捺印された「人権侵害ゼロへの誓い」の宣言書が施設入り口に掲示されています。理念や職員心得の中にも利用者尊重が謳われています。この宣言が『共育・共生』されることが望まれます。</p> <p>苦情解決のしくみが確立されていますが、利用者・家族への周知に向けて、分かりやすい言葉で見やすい場所に掲示することと、意見や苦情にすぐに応じられない時には、その理由の説明を当事者や広く自治会・家族会に周知することが望まれます。</p> <p>卒園生が雇用され、子ども達の良き相談相手になっていることがうかがえます。</p>	

〈Ⅲ-2 サービスの質の確保〉

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1)	質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	
Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	㉠・ b・ c
Ⅲ-2-(1)-②	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	㉠・ b・ c
Ⅲ-2-(1)-③	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a・ ㉢・ c
Ⅲ-2-(2)	個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。	
Ⅲ-2-(2)-①	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	㉠・ b・ c
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	㉠・ b・ c
Ⅲ-2-(3)	サービス実施の記録が適切に行われている。	

Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	㉠・ b・ c
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	㉠・ b・ c
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	㉠・ b・ c
評価者の コメント	<p>各種会議体が整い、定期的評価・見直しが行われています。更に「あなたの前の利用者、しあわせしていますか？」という独自の具体的な取り組みが始められています。</p> <p>従来からの手書きの記録と、パソコンを開くことで読み取れる記録の統合や整理を進め、目的ごとに探し易く現場ですぐに活用できる保管と閲覧環境を整えることが望まれます。</p>	

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

		第三者評価結果
Ⅲ-3-(1)	サービス提供の開始が適切に行われている。	
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a・ ㉠・ c
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a・ ㉠・ c
Ⅲ-3-(2)	サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・ ㉠・ c
評価者の コメント	<p>児童相談所などからの「措置」により利用が開始されることが多く、利用者本人に十分な情報提供をし、同意を得ることは困難な現状にありますが、現在の児童一般を取り巻く環境の変化を考えると、広く社会全般に対してサービス情報を発信し続けることは大切な役割の一つと考えられます</p> <p>適切なサービス提供の開始において、理念や行われているサービスの内容を紹介するパンフレットやリーフレットを作成し、施設サービスを必要とする人々が情報を入手しやすくする積極的な取り組みが望まれます。</p> <p>同じ敷地内に更生施設と授産施設を併設しており、成人利用者には横のつながりを持ったデイケアを実施して安心感が得られています。</p>	

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

		第三者評価結果
Ⅲ-4-(1)	利用者のアセスメントが行われている。	
Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	㉠・ b・ c
Ⅲ-4-(1)-②	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	㉠・ b・ c
Ⅲ-4-(2)	利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	
Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	㉠・ b・ c
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	㉠・ b・ c
評価者の コメント	個々の利用者に対して生活場面ごとに自立を目指した、分かりやすい目標設定が行われ、定期的な評価見直しがされています。	

Ⅲ-5 質の高い福祉サービスの実施に係る具体的な取組み

Ⅲ-5-(1) 質の高い福祉サービスの実施のために特記すべき取組みが行われている。

Ⅲ-5-(1)-① 質の高い福祉サービスを実施に向けて、事業者として独自性のある取組みや

特徴的な取組みを行っている。（この項目は、本受審施設が記述したものによります。）

[特記事項]

- 親元を離れて過ごす利用者のために、出来るだけ家庭に近い雰囲気作りをし、その中で安心感を養ってもらう。
- 未就学児童の受け入れは5年の実績があり、「たんぽぽ」班として保育、療育の両面を踏まえた処遇を行い、市内の保育所とも定期的に交流を図っている。
- 就学児童については、養護学校、家庭との三位一体の連携を目指す。
- 障がい児・者の枠を取り払い、同一法人内の授産部、厚生部とも連携を保っている。例として18歳以上の過齢児については、更生部との合同でのデイケア活動や、授産部の作業活動に参加する。
- 毎日入浴を取り入れ、希望者には厚生部、授産部の浴室を利用し、他施設との交流を図る。
- 積極的に障がい児の在宅支援サービスとしての、ショートステイの受け入れを行っている。

- 今年で25年目を迎えるマーチングバンドの活動を通して、積極的に地域のイベントへの参加などにより、利用者の社会性の向上や、自信を持たせる一助にしている。
- 陸上部～利用者の体力向上を目指して、毎日グランドや園の周辺の道をランニングしている。メンバーは小学校2年生から高校3年生までで、練習方法も利用者中心に進めているので、年長の利用者が年下の利用者のサポートをすることもあり、協調性アップの一助にもなっている。年に数回陸上競技場にて練習したり、他の陸上部がある施設に行き、合同練習も行っている。練習の成果はゆうあいスポーツ大会などで発揮している。
- サポートセンター風車との連携
地域の在宅障がい者の支援を行っているサポートセンター「風車」との連携を密に行っている。
 - ・ 風車が行っている、支援プログラムやイベント（サマースクールなど）などの全面的協力。
 - ・ ボランティアの受け入れや、教育。
- 自活訓練事業
児童施設を利用される方は18歳になると、原則として退所していくことになる。なかには成人施設に移行する方もいるが、家庭復帰や就職する方もいる。その際に少しでも地域社会の中で必要な基本的生活の知識・技術を習得するため、実際に隣接の自活訓練棟での生活をしながら、6ヶ月間の個別支援プログラムを実行しながら地域生活への移行を目指している。

(この項目は、本受審施設が記述したものによります。)

福祉サービス第三者評価結果 付加基準
(障害者・児施設版)

A-1 利用者の尊重

		第三者評価結果
A-1-(1) 利用者の尊重		
A-1-(1)-①	施設の行う援助について事前に説明し、主体的に選択（自己決定）できるような支援がなされている。	①・ b ・ c

A-1-(1)-②	利用者の自己決定を支援するために、コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	a・㉞・c
A-1-(1)-③	自立支援のため、利用者の主体的な活動を尊重している。	㉠・b・c
A-1-(1)-④	利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	㉠・b・c
A-1-(1)-⑤	利用者に対する暴力（体罰を含む）、言葉による脅かし等の不適切な関わりの防止と早期発見に取り組んでいる。	㉠・b・c
評価者の コメント	<p>自治会があり、月ごとの目標を話し合いで決めたり、ビデオの録画予約を自分たちで表に書き込むなど集団で暮らす子ども達の自己決定を促す取り組みがなされています。</p> <p>自活訓練・単独買い物・施設行事実行委員としての参加などが実施され、職員は出来るだけ見守る姿勢での支援が行われています。</p> <p>養護学校の参観日や運動会には担当職員が積極的に参加し、学校での様子を見て利用者との相互理解を深める姿勢が見受けられます。</p>	

A-2 日常生活支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 食事		
A-2-(1)-①	サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	㉠・b・c
A-2-(1)-②	食事環境（食事時間や利用者の嗜好を含む）に配慮している。	a・㉞・c
A-2-(2)入浴		
A-2-(2)-①	利用者の自立を念頭に置き、入浴支援を行っている。	㉠・b・c
A-2-(2)-②	入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	㉠・b・c
A-2-(2)-③	入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	㉠・b・c

A-2-(2)-④	浴室・脱衣場の環境は適切である。	㉑ ・ c
A-2-(3) 排泄		
A-2-(3)-①	利用者の自立を念頭に置き、排泄介助は適切に行われている。	㉑ ・ b ・ c
A-2-(3)-②	トイレは清潔で快適である。	a ・ ㉑ ・ c
A-2-(4) 衣服		
A-2-(4)-①	利用者の意思や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	㉑ ・ b ・ c
A-2-(4)-②	衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	㉑ ・ b ・ c
A-2-(5)理容・美容		
A-2-(5)-①	利用者の意思や好みを尊重し、選択について支援している。	㉑ ・ b ・ c
A-2-(5)-②	理髪店や美容院の利用について配慮している。	㉑ ・ b ・ c
A-2-(6)睡眠		
A-2-(6)-①	安眠できるように就寝環境に配慮している。	㉑ ・ b ・ c
A-2-(6)-②	睡眠時間帯に置ける適切な支援を行っている。	㉑ ・ b ・ c
A-2-(7)健康管理		
A-2-(7)-①	日常の健康管理は適切である。	㉑ ・ b ・ c
A-2-(7)-②	内用薬・外用薬等の扱いは確実にされている。	㉑ ・ b ・ c
評価者の コメント	<p>食べ込みを自分で調節できない利用者には時間差をつけて食事の提供をするなどの配慮が見られます。ダイエット食など特別食も普通食と見かけが同じになるよう工夫されています。 選択食に更なる充実が望まれます。</p> <p>毎日入浴が行われ、併設施設の風呂を利用することにより、夕方と夜の時間帯を自由に選択することができるよう工夫され原則同姓介護がなされています。</p> <p>脱衣場には、エアコン・扇風機などが整っていますが、脱衣かごやカーテンは家庭的な寛ぎが感じ取れるような配慮が望まれます</p> <p>排泄に関しては、必要に応じて排便表に記録され養護学校との連携が取られています。トイレ関係全般にわたり、衛生面の対応が徹底されています。 衛生面への努力と</p>	

	<p>同様にプライバシー・安全性・快適さへの更なる配慮が望まれます。</p> <p>服薬は準備から服用までに3段階のチェックが行われ、さらに名前を呼び上げて確実な服薬介助がなされています。</p>
--	--

A-3 自立支援

		第三者評価結果
A-3-(1) エンパワメントプログラム		
A-3-(1)-①	利用者のエンパワメントの理念に基づくプログラムがある。	a ・ ㉑ ・ c
A-3-(2) 余暇・レクリエーション		
A-3-(2)-①	余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿った上で、利用者の社会参加や自立支援という視点から行われている。	㉑ ・ b ・ c
A-3-(3) 外出、外泊		
A-3-(3)-①	外出は利用者の希望に応じ、自立支援の視点に立って支援が行われている。	㉑ ・ b ・ c
A-3-(3)-②	外泊は利用者の希望に応じるよう配慮し、自立支援の視点から支援が行われている	㉑ ・ b ・ c
A-3-(4) 所持金預かり金の管理等		
A-3-(4)-①	預かり金について、適切な管理体制が作られている。	㉑ ・ b ・ c
A-3-(4)-②	新聞・雑誌の購読やテレビ、IT機器は利用者の意思や希望に沿って利用できる。	㉑ ・ b ・ c
A-3-(4)-③	嗜好品（酒、たばこ等）については、健康上の影響等に留意したうえで、利用者の意思や希望が尊重されている。	㉑ ・ b ・ c
評価者のコメント	<p>単独買い物・調理実習や掃除・洗濯・下膳当番を通して社会生活力が高められています。職員とマンツーマンで生活全般を体験する自活訓練が行われ、児童施設から卒業す</p>	

るための支援が行われています。成人の利用者については、調理実習や就労の学習が行われています。

外出時には不慮の事態に備えて必要事項を書いたカードなどの携行が望まれます。

個人所有のウォークマン・CDデッキなどが希望に沿って利用されています。